

里帰り分娩：「助産所 とうみ」でお産を希望される方へ

*ご妊娠おめでとうございます。

「助産所とうみ」でのお産を希望する方も、どこでお産をしようか迷っている方もいらっしゃると思います。当院のお産の取り組みを十分理解していただいた上で、当院でお産するかどうかをお選び いただきたいと思います。



「助産所」とは・・・？

助産師が運営する自然分娩をしている施設です。助産師は法律に基づいて正常な妊娠・出産・産褥であれば助産師の責任において診察・ケアを行うことができます。妊娠中からお母さんと一緒に赤ちゃんの成長や心音を確認したり、お産や母乳育児に向けて体調を整えたりする方法をともに考えていき、自然でアットホームな雰囲気の中で赤ちゃんを迎えていただくことを目指しています。

医療連携について

助産所では、妊娠中から産後まで安全に過ごしていただくために、信州上田医療センターと連携を結んでいます。妊娠 20, 30, 35 週頃には医師による健診を行います。また、異常兆候があるときには相談し受診や転院ができるようなシステムとなっています。

「助産所 とうみ」の特色

- * 健診は予約制となっており、助産師が行います。ただし、妊娠 35～36 週の健診は信州上田医療センターで行います。
 - * お産の時も含めて入院から退院まで同じお部屋（全個室）で過ごしていただきます。フローリングあるいは畳のお部屋で自由な姿勢でお産ができます。
 - * お産の時は、緊急時の対応のために、血管確保(点滴)をさせていただきます。
 - * 基本的な入院期間：赤ちゃんの生まれた日から数えて6日間の予定です。
 - * 入院中に東御市民病院小児科医師による赤ちゃんの健診があります。
 - * 出産入院費用：自己負担額は、出産育児一時金（50 万円）を利用した場合、5～10 万円程度です。
 - * 母乳育児を支援しています。WHO/UNICEF の共同声明である『母乳育児成功のための 10 か条』に沿ってケアをさせていただきます。
 - 出生直後からお母さんと赤ちゃんは一緒に過ごし、赤ちゃんが欲しがるときにおっぱいを吸わせてもらいます（一日 8～12 回以上の頻回授乳）。
 - 医学的に必要でない限り、母乳以外のものは与えないようにします。
 - 母乳以外のものを与える際には哺乳びん（人工乳首）は使用せず、カップやスプーンを用いて授乳します。（赤ちゃんがゴムの乳首に慣れてしまわないように）
- 上記のような方針のもとに、おっぱいの吸わせ方やおっぱいが張りすぎてしまった場合の対処法などの支援を行っていきます。退院後も母乳育児を楽しく続けられるようフォローさせていただきます（母乳育児外来）。



助産所でお産をしていただくために大切なこと

助産所は、産婦人科医院や病院と違って医師がいないので、会陰切開や陣痛促進剤の使用などの医療介入を行えません。そのため、正常な妊娠経過をたどり、自然分娩が可能と予測される方を対象としており、お母さんと赤ちゃんの持つ力を十分に発揮してお産をしていただいています。

そのためには、順調に妊娠・出産ができるよう**妊娠中の自己管理と努力が必要**となります。

たとえば…

- * 規則正しい生活
- * 栄養バランスのとれた、鉄分の多い食事
- * 体重コントロール
- * 体力作り（毎日のウォーキング・スクワットなど運動）
- * 冷えの予防

を積極的に行っていただきます。ご自身の生活やコンディションを整え、健やかな妊娠生活・出産を迎えて頂けるよう、助産所スタッフ全員でサポートいたします。



転院・搬送の可能性のある対象

どんなに気をつけていても、自然発生的に予測し得ない異常が起こる可能性があります。

- * 血圧の上昇
- * 血糖値の上昇
- * 腎機能の低下
- * 胎盤・羊水・胎児の異常 * 臍帯脱出などの臍帯の異常
- * 早産徴候
- * 重度貧血
- * 逆子がおおらない
- * 妊娠37未満での破水・陣痛開始
- * 妊娠37週以降に破水し、24時間以上陣痛が来ない
- * 予定日を過ぎ、連携医の定める日が来ても陣痛が来ない
- * 陣痛が弱くて分娩が進行しないとき
- * 産後の出血多量
- * 産後に、裂傷の縫合等医療処置が必要なとき など



緊急時の医療対応について

助産師は医療行為を行えませんが、万が一の緊急時の医療処置は認められており、連携している信州上田医療センター産科医の指示のもと急速分娩を行い、産後の出血に対する止血剤の使用や点滴をすることができます。また、経過途中で異常のサインを認めた場合は連携医と連絡をとり対応します。

緊急に高度な医療が必要な場合には、救急車での搬送となり30~60分ほど時間がかかりますので、ご理解お願いいたします。

以上、妊婦さんご本人およびご家族が十分納得された上で、同意書を提出していただきますようお願いいたします。

妊婦さんやご家族が安心して納得できるお産・育児ができるよう、助産所スタッフ全員でサポートさせていただきます。

令和4年度（令和4年4月～令和5年3月まで）の

助産所とうみの分娩件数と助産所から病院への転院件数

転院率（妊娠期・分娩期）

	人数	%
分娩数	61	78%
転院数	17	22%
分娩予約数	78	100%

*赤ちゃん、産後の方は転院数に含んでおりません

信州上田医療センターへの転院時期

転院時期	人数	%
妊娠期	10	50%
分娩期	7	35%
産褥期	1	5%
新生児期	2	10%
総転院数	20	100%



助産所とうみ 0268-62-0168

*助産所とうみからお電話させていただく際の着信番号は、東御市民病院（0268-62-0050）の番号となりますのでご了承ください